

福祉思想論

単位数	履修方法	配当学年
2単位	R	1年以上



科目コード	DH2109	担当教員	田中 治和
-------	--------	------	-------

■科目の内容

今日の社会福祉はテクニックが優先し、社会福祉への取り組み姿勢などがおろそかになってはいないでしょうか。新しい世紀を迎え混迷の度を深めている時代状況にあって、人と人の係わりあい、人としての考え方をしっかりと見つことが望まれるでしょう。そうしたとき、福祉思想が大きな役割を担うことができるものと確信しています。

人としての生き方を考えたとき、少しむずかしく思われるかもしれませんが、一步踏み込んでその考え方に触れてみる必要があるのではないのでしょうか。

■到達目標

- 1) 選択した時代区分における思想の特色を簡潔に述べることができる。
- 2) 選択した時代区分における思想の特色をもとに自分の考え方を述べることができる。
- 3) 現代社会における様々な価値観と結びつけて思想の意味を述べることができる。

■教科書

吉田久一・岡田英己子著『社会福祉思想史入門』勁草書房、2000年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	欧米社会福祉思想（史）の方法（序章）	欧米の社会福祉思想を学ぶ意義について理解する。	社会福祉実践および社会福祉学の基盤となる福祉思想を学ぶ意義を学習してください。
2	中世以前の事前救済の福祉思想（第1章）	ギリシアの博愛、ユダヤ教の事前思想、キリスト教の隣人愛・カリタスについて理解する。	福祉思想の源流となる慈善と博愛について学習してください。
3	中世の事前救済事業思想（第2章）	カトリック慈善事業、ルターの救貧思想、都市救貧事業の思想と実践などについて理解する。	宗教改革前後の公的救貧思想および都市救貧制度について学習してください。
4	市民革命と自由・平等の人権思想（第3章）	イギリス救貧法の影響、フランス革命と「自由・平等・友愛」の人権思想などについて理解する。	西欧・米の国民国家のための福祉思想について学習してください。
5	博愛事業思想と市民主導型ボランティア（第4章）	イギリスの博愛事業と貧困問題、アメリカの博愛事業、ドイツとスウェーデンの救済システムについて理解する。	欧米各国の博愛事業について学習してください。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
6	社会事業思想とソーシャルワークの創出 (第5章)	欧米の社会事業成立期(ソーシャルワークの創出期)の諸課題について理解する。	社会事業の職業化、つまりソーシャルワークの創出について、ジェンダー化という視点から学習してください。
7	現代社会福祉思想の登場と変貌 (第6章)	現代社会福祉思想の全般的動向とその課題について理解する。	社会民主主義の登場と、大恐慌後の大量失業問題への対応策としての種々の生活保障構想の意味を学習してください。
8	戦後福祉改革と福祉国家思想・運動の新たな模索 (第7章)	戦後福祉改革と福祉国家の動向とその思想および運動について理解する。	第2次大戦後の福祉国家制度の成功と低迷について学習してください。
9	20世紀終末期の欧米社会福祉思想 (終章)	欧米社会福祉思想の評価、および方法論について理解する。	社会福祉思想の方法論と、改めてそれを学ぶ意義について学習してください。
10	(日本の)近代以前の福祉思想 (序章・第1章)	古代社会および中世封建社会の福祉思想について理解する。	仏教の福祉思想、キリシタンの慈善思想について学習してください。
11	明治の救済事業思想、慈善事業思想 (第2章)	明治期の公的救済事業、慈善事業思想、および感化救済事業思想について理解する。	プロテスタントの慈善事業思想および感化救済事業について学習してください。
12	大正デモクラシーと社会事業思想 (第3章)	社会事業思想の形成と成立、および挫折、ならびに戦後厚生事業思想について理解する。	社会事業思想と戦時厚生事業思想について学習してください。
13	戦後の社会福祉思想 (第4章)	戦後占領期、高度成長期、および低成長期の社会福祉思想について理解する。	戦後社会事業思想と社会福祉成立期の思想と理論について学習してください。
14	20世紀終末期の社会福祉思想① (第5章)	20世紀末の欧米および日本の社会福祉思想について理解する。	20世紀末の(現在にも連続している)社会福祉思想について学習してください。
15	20世紀終末期の社会福祉思想② (第6章)	社会福祉の普遍化・多元化、市場論、グローバル化「自立」論などを理解する。	近年の社会福祉思想に連続する論点について学習してください。

■レポート課題

1 単位め	「第Ⅰ部 欧米の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第1章から終章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。
2 単位め	「第Ⅱ部 日本の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第1章から第6章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。

■アドバイス

日本の福祉思想に比べて、ヨーロッパの福祉思想は長い歴史があります。福祉思想にとって重要なことは、教科書の序章の最初に書かれているように、純粋な哲学的発想ではなく、実際の日常生活に密着して考えていくことです。レポートはひとつの章を選択して提出するだけですが、思想、考え方の流れということもあり、全体をひとつの流れとして捉えてほしいと考えています。

教科書の題名は『社会福祉思想史入門』となっていますが、「史」がついているからといって、古い考え方というものではありません。福祉の考え方にはいろいろとあってよいと思います。そうしたなかであって、自分の考え方をもって社会福祉に取り組む姿勢とでもいうものをもってほしいと考えています。

1 単位め アドバイス

テキストの第Ⅰ部をよく読み、欧米の社会福祉思想がその時代と社会のあり方を反映しながら、どのように展開されてきたかを簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。自分の考えをもつことを意識し、テキストを読んでください。

2 単位め アドバイス

テキストの第Ⅱ部をよく読み、日本の社会福祉思想の流れを読みとってください。宗教や社会体制についても理解を深め、簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。日本の福祉社会を考えたとき、どのような考え方、意識をもち、今日までの思想の流れを捉えるか、そして、これからの時代に何が望まれるかを考えてください。

■科目修了試験 評価基準

教科書の内容理解に努めること。

■参考図書

吉田久一著作集1『日本社会福祉思想史』川島書店、1989年

丸山真男著『日本の思想』岩波新書、1961年